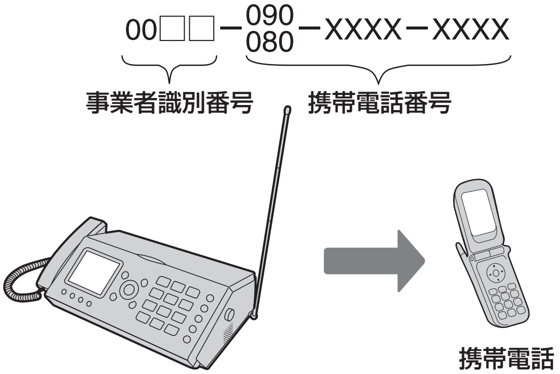
# 携帯電話へおトクにかける（携帯とくとくダイヤル機能）

携帯電話へ電話をかけるとき、番号の前に「事業者識別番号」（例：NTT東日本0036、NTT西日本0039など）をつけてダイヤルすることにより、事業者が設定した通話料を選ぶことができます。
利用者は各社の電話料金を比べて、安い料金を選ぶことができます。携帯電話への通話料金がおトクになるサービスとして、各社が実施しています※。




携帯とくとくダイヤル機能を使えば、発信ごとのダイヤル操作や個別の電話帳に登録をしなくても、あらかじめ登録しておいた「事業者識別番号」を自動的につけて、携帯電話へ発信します。

**IP電話をご利用の方へ**

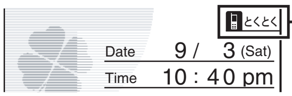
IP電話と本サービス実施事業者の料金を比較してご利用ください。IP電話事業者によっては、お安くならない場合があります。
IP電話でこの機能をご利用になるときは、「IP電話利用」（☞140ページ）の設定を「あり」にしてください。

※ 通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者へ詳細をご確認ください。

## 携帯とくとくダイヤル機能とは

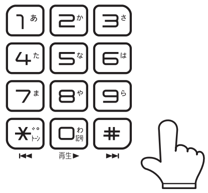
事業者識別番号を登録することで、自動的に「事業者識別番号」をつけて発信することができます。
工場出荷時は、携帯とくとくダイヤル機能を、「利用しない」設定になっています。

（例）「NTT東日本0036」を登録したとき



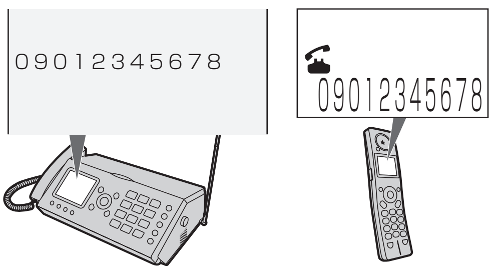

**※携帯とくとくダイヤル設定マークが親機液晶ディスプレイに表示されます。**

**090-1234-5678 とダイヤルすると**



**自動的に0036を付加**

**0036-090-1234-5678 と発信**




※本機能により、0036等を付加して発信する場合も、親機、子機の液晶ディスプレイには携帯電話番号のみ表示されます。

**090-1234-5678 を電話帳、ワンタッチダイヤル、再ダイヤルや着信記録などから発信すると**

**自動的に0036を付加**

**ダイヤル時に 0036-090-1234-5678 と発信**




**090-1234-5678 の頭に「184」（非通知）や「186」（通知）をつけてダイヤルすると**

**「184」や「186」のあとに、自動的に0036を付加**

**（「184」をつけたとき）**
**184-0036-090-1234-5678 と発信**



## 携帯とくとくダイヤル機能を設定する

**1** ◯（登録）［1あ］［5な］と押す

**NTT東日本、NTT西日本のサービスをご利用の場合**

**2** NTT東日本のサービスをご利用のときは［1あ］、NTT西日本のサービスをご利用のときは［2か］を押す

・NTT東日本のサービスはNTT東日本サービス提供エリア内のみとなります。
・NTT西日本のサービスはNTT西日本サービス提供エリア内のみとなります。

**NTT東日本、NTT西日本以外のその他の事業者をご利用の場合**

**2** ［3さ］を押す
↓
事業者番号（最大6ケタ）を入力し、（決定/FAXスタート）を押す

<事業者識別番号指定>
事業者識別番号=

**3** ◯（停止）を押す

・事業者番号が正しく設定されていないときなど、電話がかからないことがあります。
・携帯電話をお持ちの方は、設定したあと、携帯電話へ電話をかけてお確かめになることをおすすめします。

■ **途中でやめるときは**
◯（停止）を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
◯（戻る）または ◯（取消）を押します。

■ **携帯とくとくダイヤル機能を利用しないときは**
◯（登録）［1あ］［5な］［4た］と押します。

■ **一時的に携帯とくとくダイヤル機能を利用しないときは**
解除番号「0000」を発信の前にダイヤルすると、事業者識別番号は発信されません。

NTT東日本、NTT西日本のサービス提供エリア外から電話をかけたときや、事業者識別番号が正しく入力されていないときは、正しく電話がかからないことがあります。

■ **携帯とくとくダイヤルの対象番号を追加するときは**（☞140ページ）

■ **携帯とくとくダイヤルの設定を確認するときは**（☞140ページ）

**お知らせ**

●通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者にお問い合わせください。
●通話先･通話時間や発信事業者の料金プラン等によっては、一部安くならない場合があります。
●携帯電話事業者の留守番電話サービスなど、一部ご利用いただけない番号があります。
こんなときは「0000」をダイヤルしてからご利用ください。
●本サービスを利用した場合、携帯電話への通話料金は、利用した事業者から請求されます。
●本サービスは、マイラインの対象になりません。
●他のサービスと同時には、ご利用になれないことがあります。詳しくは、各通信事業者にお問い合わせください。
●携帯とくとくダイヤル機能を設定しているときは、読上げボイスダイヤル機能が働きません。

# 子機を増やす

## 増設する子機について

- 増設できる子機の台数は、付属の子機と合わせて最大４台までです。
  UX-F50CLはあと３台まで、UX-F50CWはあと２台まで増設できます。
- 増設できる子機はCJ-KS80、CJ-KS60、CJ-KS50、CJ-KS4、CJ-KS7です（☞135ページ）。
  他の子機は増設できませんのでご注意ください。

**※CJ-KS4、CJ-KS7を増設したときは、子機どうしの通話はできません。**

※機種によっては、生産が完了している場合もあります。あらかじめ在庫等を販売店にお確かめの上、お買い求めください。

- 子機を増設する方法は、増設子機に付属している「子機増設登録操作説明書」をご覧ください。
  （CJ-KS80、CJ-KS60、CJ-KS50以外の子機を増設されるときは、増設登録手順タイプＡをご覧ください。）
- 増設した子機によって操作が異なりますので、詳しくは増設子機の取扱説明書をご覧ください。

●UX-F50CL/UX-F50CWに増設した場合の機能比較

| 機能名 ＼ 機種名 | | 付属の子機 | CJ-KS80 | CJ-KS60 | CJ-KS50 | CJ-KS4 | CJ-KS7 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 電話機能 | 電話帳機能 | ○（100人） | ○（100人） | ○（100人） | ○（100人） | ○（100人） | ○（100人） | 53～54 |
| | 漢字表示 | × | ○ | × | × | × | ○ | ――― |
| | 電話帳転送（親機⇔子機） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 57～58 |
| | 再ダイヤル | ○（3件） | ○（10件） | ○（3件） | ○（3件） | ○（3件） | ○（10件） | 35 |
| | ダイヤルボタン点灯 | × | ○ | × | × | × | ○ | ――― |
| | 優先呼出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 39 |
| | モーニングコール | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 92 |
| | 子機間通話（トランシーバー方式） | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | 42～43 |
| | 子機間ひと声通知 | × | × | × | × | ○ | ○ | 91 |
| | 受話音量切換 | 特大・大・標準 | 特大・大・標準 | 特大・大・標準 | 特大・標準 | 特大・標準 | 特大・標準 | 31 |
| ナンバーディスプレイ関連 | 番号・名前表示 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 103 |
| | 着信記録 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 104 |
| | 着信鳴り分け | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 109 |

# 通話内容や伝言メモを録音する（親機）

すべての録音を合わせて最大約15分間録音できます。録音できる件数は最大30件までです。1件の録音時間は、「30秒」です（録音時間を1分または2分に変更できます。☞138ページ）。１件の録音時間が長いと録音できる時間が減り、30件録音できないこともあります。

## 通話内容を録音する

**1** 通話中に
**◯（登録）［5な］と押す**

> 通話録音中
> [停止]で終了

・録音が始まります。
・内線通話中は、通話録音できません。

**2 録音が終わったら ◯（停止）を押す**

・日時と件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。（日時スタンプ機能）

**■ 録音内容を再生するときは（☞64ページ）**

**■ 録音内容を消去するときは（☞65ページ）**

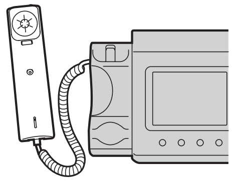
**■ 下記のメッセージが表示されているときは**

> 録音データ保存中
> しばらくお待ちください

録音した内容をメモリーに保存しています。このメッセージが表示されている間は、電話の着信以外の操作はできません。
また、このときの着信音は、他の着信音に設定していても「電話ベル音」になります。

## 伝言メモを録音する

**1 受話器を取る**



**2 ◯（登録）［5な］と押す**

> メモ録音中
> [停止]で終了

**3 受話器で伝言を録音する**

**4** 録音が終わったら
**◯（停止）を押してから、受話器を置く**

・日時と件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。（日時スタンプ機能）

**■ 伝言メモを録音中に電話がかかってきたときは**

録音は自動的に止まります。一度受話器を戻してから受話器を取って通話します。

**お知らせ**

- 子機で通話や伝言メモを録音することはできません。
- ファクスのメモリー受信データや留守番電話の用件録音などがあると録音できる時間が少なくなります。
- 伝言メモ録音中にドアホンから呼び出しがあったときは、一度受話器を戻してから、受話器を取ってドアホン通話します。

# 読上げボイスダイヤル機能を利用する（親機）

親機で電話をかけるときやファクスを送るとき、押したダイヤルボタンの番号を音声（読上げボイス）でお知らせすることができます。
工場出荷時は読上げボイスダイヤルが設定されていません。

**1** ◯(登録) [8や] [8や] と押す

＜読上げボイス設定＞
①あり
②なし

**2** 読上げボイスダイヤル機能を
利用するときは [1あ] 、
解除するときは [2か] を押す

**3** ◯(停止) を押す

■ 読上げボイスダイヤル機能の音量を変えるときは

「親機のスピーカー音量を変える」の操作をしてください（☞31ページ）。
（読上げボイスダイヤル機能の音量は、親機のスピーカー音量と連動しています。スピーカー音量を変えずに読上げボイスダイヤル機能の音量だけを変えることはできません。）

■ 読上げボイスダイヤル機能でのボタンの読み方

| ボタン | 読み方 | ボタン | 読み方 |
|---|---|---|---|
| [1あ] | 「イチ」 | [8や] | 「ハチ」 |
| [2か] | 「ニ」 | [9ら] | 「キュウ」 |
| [3さ] | 「サン」 | [0わ 記号 再生▶] | 「ゼロ」 |
| [4た] | 「ヨン」 | [＊ ゛゜ トーン ⏮] | 「スター」 |
| [5な] | 「ゴ」 | [＃ ⏭] | 「シャープ」 |
| [6は] | 「ロク」 | [再ダイヤル] | 「ポーズ」 |
| [7ま] | 「ナナ」 | | |

**お知らせ**

- 読上げボイスの発声中に次のダイヤルボタンを押すと、発声中の声を止め、次に押された番号を発声します。このため、早くボタンを押すと音声が途切れます。音声を確認してから次のボタンを押すことをお勧めします。
- ダイヤルを始めてから、読上げボイスダイヤル機能を設定／解除することはできません。
- 携帯とくとくダイヤル機能を設定しているときやコピーをしているとき、リスト印字をしているときは、読上げボイスダイヤル機能が働きません。

# 親機をもっと便利に使う

親機をもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。

## FAX受信方法

| | |
|---|---|
| はたらき | ファクスの受信方法を、以下のいずれかに設定できます。<br>工場出荷時の設定は「見てからプリント」です。<br>**見てからプリント：**<br>受信した内容をいったんメモリーに記録し、プリントする前にディスプレイで確認することができます。<br>**メモリー受信：**<br>受信した内容をメモリーに記録してから、自動的にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったとき、受信データはメモリーに保存されています。<br>**記録紙受信：**<br>受信した内容を、直接記録紙にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったときは受信できません。受信メモリーが残り少なくなっているときなど、メモリー受信できないときに設定します。ただし2枚に分かれてプリントされることがあります。<br>また、メモリー受信したものに比べて、横方向に筋が入るなど、少し画質が劣ることがあります。 |
| 手順 | ◯（登録） 8や 2か 1あ ➡ 1あ：「見てからプリント」 2か：「メモリー受信」 3さ：「記録紙受信」 ➡ 停止 |

## 終了音

| | |
|---|---|
| はたらき | コピーの終了後や、ファクスの送受信後に鳴る終了音を、以下のいずれかに設定できます。<br>工場出荷時の設定は「音声」です。<br>**音声**：「音声」でお知らせします。ただし、コピー時の終了音は「鳥の声」になります。<br>**鳥の声**：「鳥の声」でお知らせします。<br>**アラーム音**：「ピー」という音でお知らせします。<br>**なし**：終了音を鳴らしません。 |
| 手順 | ◯（登録） 8や 2か 2か ➡ 1あ：「音声」 2か：「鳥の声」 3さ：「アラーム音」 4た：「なし」 ➡ 停止 |

## キータッチ音

| | |
|---|---|
| はたらき | 親機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音（キータッチトーン）の有無を設定できます。<br>工場出荷時の設定は「あり」です。 |
| 手順 | ◯（登録） 8や 4た ➡ 1あ：「あり」 2か：「なし」 ➡ 停止 |

# ひと声通知・ひと声転送を使う（子機）

CJ-KS4／CJ-KS7を増設してお使いのときは、子機から子機へ一方通行でメッセージを伝えたり（ひと声通知）、メッセージを伝えて他の子機へ転送する（ひと声転送）ことができます。
なお、CJ-KS80、CJ-KS60、CJ-KS50を増設したときは、トランシーバー方式で子機間通話や通話転送ができます（☞42～43、45～46ページ）。

## ひと声通知を使う

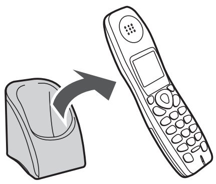
**1** 子 機

**子機を充電器から取って 内線/クリア（保留） を押し、呼び出したい子機の内線番号を押す**

・呼び出した子機が応答するまで「ププププ…」と鳴ります。

**2** 呼び出された子機

着信音が鳴ったら、
**充電器から取る**



・充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。

**3** 子 機

**呼び出した子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）**

・呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

**4** 呼び出された子機

**メッセージが聞こえる**

**5** 子 機

メッセージが終わったら
**（切） を押す**

・この操作をしなくても約10秒後には自動的に電話は切れます。

## ひと声転送を使う

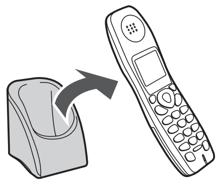
**1** 子 機

子機で外線通話中に
**内線/クリア（保留） を押し、呼び出したい子機の内線番号を押す**

・外線通話中の相手の方には保留メロディーが流れます。
・呼び出した子機が応答するまで「ププププ…」と鳴ります。

**2** 呼び出された子機

着信音が鳴ったら、
**充電器から取る**



・充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。

**3** 子 機

**呼び出した子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）**

・呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

**4** 呼び出された子機

**メッセージが聞こえる**

**5** 子 機

メッセージが終わったら
**子機を充電器に戻す**

・この操作をしなくても約10秒後には自動的に転送されます。

**6** 呼び出された子機

**（通話） または 内線/クリア（保留） を押す**

■ **呼び出している子機が出ないときは**

内線/クリア（保留） を押すと、呼び出しをやめて保留になります。このあと 内線/クリア（保留） または （通話） を押すと外線の相手の方との通話に戻ります。

# モーニングコールを利用する（子機）

## モーニングコールを設定する

子機で、モーニングコールを設定することができます。「ピッ・ピッ…」とアラーム音が鳴って、お知らせします。（約５分間隔で1分間鳴り７回くり返します。）

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

**1** （機能）を押し、（▲▼）で「アラームセッテイ」を選ぶ

アラームセッテイ

**2** （機能）を押し、（◀▶）で「ON」を選ぶ

▶ON　OFF

**3** （機能）を押す

00:00

**4** アラーム時刻をダイヤルボタンで入力する（24時間制で４ケタ入力します）

・すでに設定している時刻を変更するときは、（◀▶）で変更する時刻にカーソルを移動し、新しい時刻を入力します。

**5** （機能）を押す

⏰
NO. 1　15:00

・⏰マークが表示されます。

■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

■ **毎日モーニングコールをご利用になるときは**

モーニングコールの設定は、アラーム音でのお知らせを７回くり返したあとは自動的に解除されますので、毎日ご利用になるときは毎日設定してください。

■ **モーニングコールの音を途中で止めるときは**

モーニングコールのアラーム音が鳴っているときに子機のいずれかのボタンを押すと、アラーム音はいったん止まります。（クイック通話の設定を「ON」にしているときは、充電器に戻したり、取り上げたりしても止まります。）このあと約５分後には再びアラーム音が鳴り始めます。

## モーニングコールを解除する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

**1** （機能）を押し、
（▲▼）で「アラームセッテイ」を選ぶ

⏰
アラームセッテイ

**2** （機能）を押し、（◀▶）で「OFF」を選ぶ

⏰
ON ▶OFF

**3** （機能）を押す

・⏰マークが消えます。

**お知らせ**

●子機の時計を設定していないときは、モーニングコールの設定はできません。また、時刻の設定が正しく合っていないと、モーニングコール設定を行っても正しい時刻にアラーム音は鳴りません。子機の時刻を合わせてから（☞32ページ）、モーニングコールを設定してください。
●モーニングコールを設定したあとに、子機の時刻合わせを行うと、モーニングコールは解除されます。
●アラーム音は、子機で設定した呼び出し音量と同じ大きさで鳴ります。「キリ」に設定しているときは「ショウ」の大きさで鳴ります。
●アラームが動作中に子機を充電器から取るなど何かの操作を行うとアラームは停止し子機を使用することができます。また、電話やファクスの着信があった場合もアラームは停止します。

# 子機をもっと便利に使う

子機をもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。

## クイック通話

| | |
|---|---|
| はたらき | 子機を充電器から取り上げるだけで電話を受けられる機能の設定ができます。<br>工場出荷時の設定は「OFF」です。 |
| 手順 | 機能 → 「クイックツウワ」を選ぶ → 機能 → 「ON」「OFF」のいずれかを選ぶ → 機能 |

## キータッチ音

| | |
|---|---|
| はたらき | 子機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音（キータッチトーン）の有無を設定できます。<br>工場出荷時の設定は「ON」です。 |
| 手順 | 機能 → 「キータッチトーン」を選ぶ → 機能 → 「ON」「OFF」のいずれかを選ぶ → 機能 |

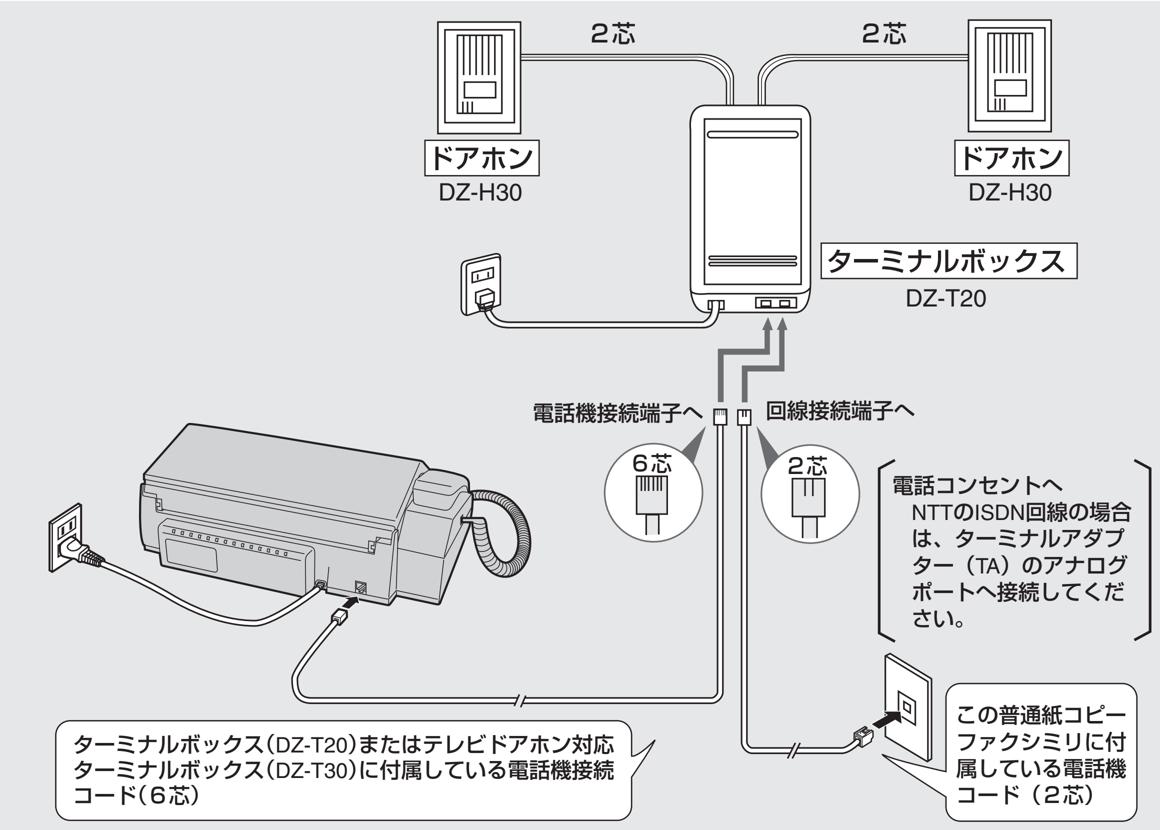
## 待ち受け時間

| | |
|---|---|
| はたらき | 子機の待ち受け時間の設定ができます。待ち受け時間とは、充電完了後に子機を充電器に置かずに待ち受けられる時間です。通話したり着信音が鳴ったりすると短くなります。<br>**ヒョウジュン：**<br>待ち受け時間は約200時間になります。<br>**チョウジカン：**<br>待ち受け時間は約240時間になります。「ヒョウジュン」のときよりも子機の着信音が遅れて鳴ることがあります。<br>工場出荷時の設定は「ヒョウジュン」です。 |
| 手順 | 機能 → 「マチウケジカン」を選ぶ → 機能 → 「ヒョウジュン」「チョウジカン」のいずれかを選ぶ → 機能 |

# ドアホンをつなぐ

別売りのターミナルボックス（専用）とドアホン（テレビドアホンユニット）を取り付けると、ドアホン通話することができます。ドアホンは最大２台まで接続することができます。
詳しい接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

## ドアホンのつなぎかた




■ NTTのISDN回線をご利用のときは（☞19ページ）

■ 現在お使いのドアホンが次の機種のときは

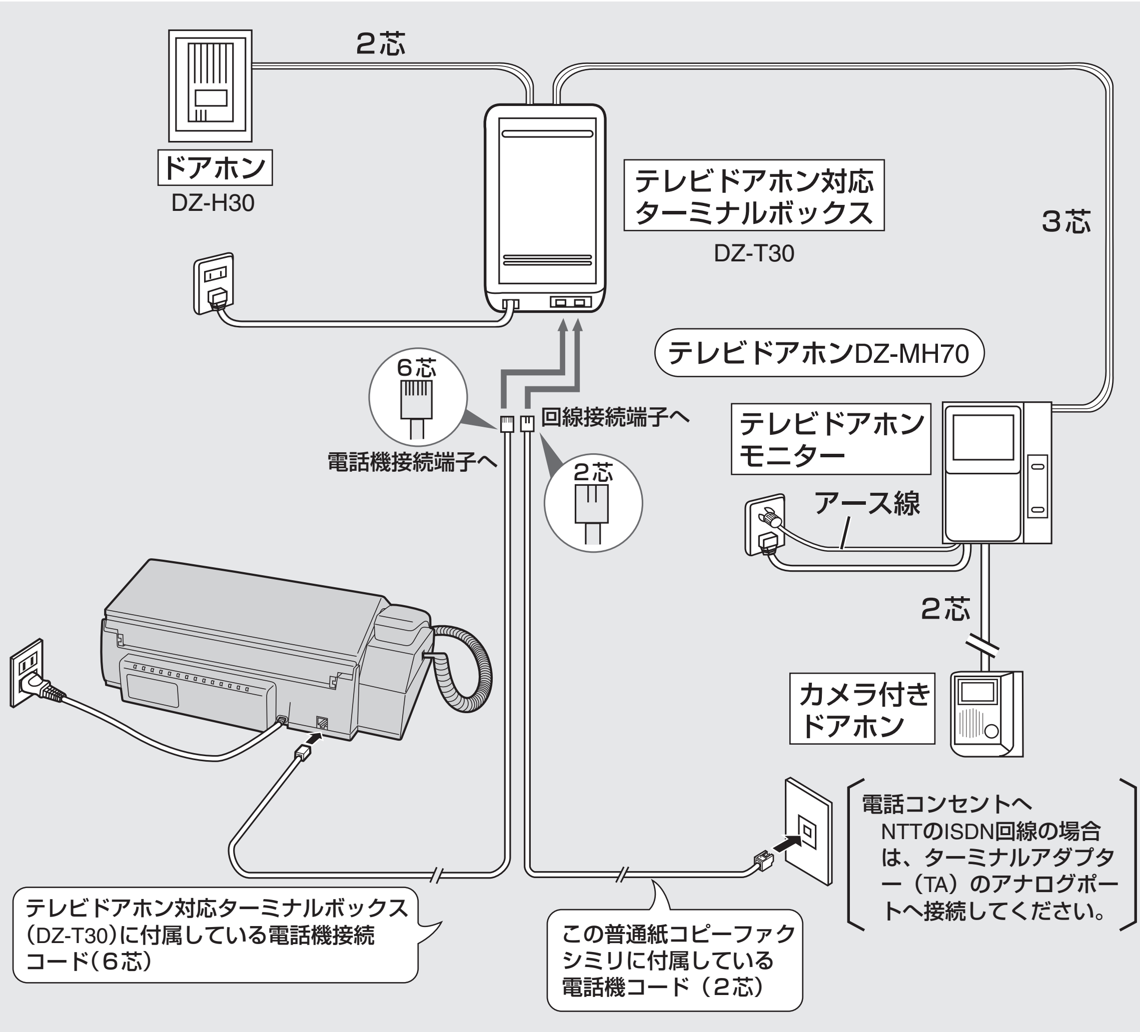
専用ドアホン（DZ-H30）をお求めにならなくても、そのままお使いいただけます。
**(ターミナルボックスDZ-T20またはDZ-T30は必要です。)**

| メーカー名（50音順） | 適合するドアホン（室外機の機種名）2005年9月現在 |
|---|---|
| アイホン | IF-DA　IE-DA　IE-DC　IE-NC　IE-RA　IE-TAS　IE-JA　IE-CA　IF-DAW IE-NXS　IE-NXBA　IE-NXM　IE-NXY　IE-NXC |
| 岩通 | ドアホンN |
| ＮＴＴ | E-104DH　E-ドアホンS　E-ドアホンD　E-ドアホンPL　E-VXドアホン |
| パイオニア | TF-DR2 |
| 富士通 | FC-201A　FC-201B　FC-201C　FC-201D |
| 松下電器産業(株) パナソニック マーケティング本部 | VF-521　VF-522　VF-523U　VF-523D　VL-568　VL-568G　VL-568U VL-568K　VL-568KA　VL-568D　VL-568R　VL-568S　VL-568KAP VL-568GL　VL-568UL　VL-569　VL-580D　VL-582A　VL-584D VL-585D　VL-586P　VL-587P　VL-592　VL-593　VL-594A |
| | EJ-502　EJ-501W　EJ-102　EJ-503F　EJ-503A　EJ-106A EJ-106S　EJ-1021B |

※チャイム（室外と室内とで会話できないもの）は適合しません

## カメラ付ドアホンのつなぎかた

テレビドアホンユニットは、DZ-MH70, DZ-MH50, DZ-MH30が接続できます。
テレビドアホンユニットを取り付けるときは、必ずテレビドアホン対応ターミナルボックス（DZ-T30）をお使いください。




■ NTTのISDN回線をご利用のときは（☞19ページ）

**お知らせ**

●カラーカメラドアホン（DZ-TH10）は使用できません。
●カメラ付ドアホンでの映像は、親機の画面には映りません。テレビドアホンモニターで確認します。

# ドアホンと話す（ドアホン通話）

親機、子機のどちらでも、ドアホンを押された方とお話しすることができます。

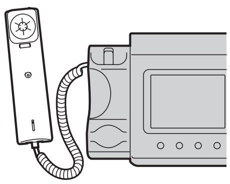
## ドアホンの着信音について

ドアホン１とドアホン２からの着信音は鳴り方が違います。

| | | |
|---|---|---|
| 親機 | ドアホン１ | ピン　ポン |
| | ドアホン２ | ピン　ポン　ピン　ポン |
| 子機 | ドアホン１ | ピロ　ピロ　ピロ　ピロ　ピロ　ピロ　ピロ　ピロ |
| | ドアホン２ | ピロ　ピロ　ピロ　ピロ　ピロ　ピロ |

## 親機で話すときは

**1** 着信音が「ピンポン」と鳴ったら、
ディスプレイに「ドアホン着信○（１または２）」と表示している間（30秒以内）に
**受話器を取って通話する**



**2** **通話が終わったら受話器を戻す**

■ **親機でドアホン通話中に電話がかかってくると**

ドアホン通話をやめて電話にでることができます。

① 電話の着信音が聞こえたら、受話器を戻す
　ドアホン通話は切れます。

② 受話器を取り上げる

■ **親機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると**

ドアホン通話中の通話をやめて、もう一台のドアホンとの通話ができます。

① ドアホンの着信音が「ピンポン」と聞こえたときは［1あ］を、「ピンポン ピンポン」と聞こえたときは［2か］を押す
　［1あ］または［2か］（または［キャッチ/消去］）を押すごとに、２台のドアホンと交互に通話できます。

■ **親機で通話中にドアホンから呼び出しがあると**

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

① ドアホンの着信音が聞こえたら、30秒以内に［内線/保留］を押す
　電話の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホン通話になります。

② 電話に戻るときは、もう一度［内線/保留］を押す
　ドアホン通話は切れます。

■ **親機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると**

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

① ドアホンの着信音が聞こえたら、30秒以内に受話器を戻す
　内線通話は切れます。

② 受話器を取り上げる

**お知らせ**

- 親機または子機からドアホンを呼び出すことはできません。
- ドアホン通話の保留はできません。
- 留守録に設定していても、ドアホンからの録音はできません。
- ファクス送受信中は、ドアホンからの呼び出しがあっても子機の着信音は鳴りません（通話もできません）。また、親機の着信音は鳴りますが、受話器を取っても通話はできません。
- 子機で優先呼出を設定していても、ドアホンの着信音は、親機・子機の両方で鳴ります。
- ドアホンの着信音が鳴ったあと、約30秒以内に応答しなかったときは、ドアホンと通話できません。
- ドアホン通話を親機や子機へ転送することはできません。
- ドアホンの着信音は、電話がかかってきたときの着信音の大きさと同じです。また「切」に設定されているときは、一番小さい大きさで鳴ります。
- ドアホンの受話音量はターミナルボックス側で調整することができます。詳しくはターミナルボックスの取扱説明書をご覧ください。

## 子機で話すときは

**1** 着信音が「ピロピロピロピロ」と鳴ったら、通話ボタンが点滅している間（30秒以内）に（通話）**を押す**

・通話ボタンが点灯します。

**2 通話が終わったら（切）を押す**

■ **子機でドアホン通話中に電話がかかってくると**

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

① 電話の着信音が聞こえたら、（切）を押す
ドアホン通話は切れます。

②（通話）を押す

■ **子機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると**

ドアホン通話中の通話をやめて、もう一台のドアホンとの通話ができます。

① ドアホンの着信音が「ピロピロピロピロ」と聞こえたときは（1ア）を、「ピロピロ　ピロピロ」と聞こえたときは（2カ）を押す
（1ア）または（2カ）（または カナ/キャッチ）を押すごとに、２台のドアホンと交互に通話できます。

■ **子機で通話中にドアホンから呼び出しがあると**

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

① ドアホンの着信音が聞こえたら、30秒以内に（内線/クリア 保留）を押す
電話の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホン通話になります。

② 電話に戻るときは、（内線/クリア 保留）を２回押す
ドアホン通話は切れます。

■ **子機で親機と内線通話中にドアホンから呼び出しがあると**

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

① ドアホンの着信音が聞こえたら、30秒以内に（切）を押す
内線通話は切れます。

②（通話）を押す

■ **子機どうしでトランシーバー方式内線通話中にドアホンから呼び出しがあると**

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

呼び出し中や両者がトランシーバーボタンを押していないときは、内線通話が切れます。ドアホンの着信音が聞こえたら、（通話）を押してください。

どちらかがトランシーバーボタンを押してお話ししているときは、「受話」になっている側で下記の操作をしてください。ドアホンの着信音は、「受話」側で聞こえます。

①「送話」側がメッセージを伝え終えてトランシーバーボタンを離したら、（切）を押す
内線通話は切れます。

②（通話）を押す

# 外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）

## 暗証番号を登録する

外出先から録音されたメッセージを聞いたり、その他のリモート操作をしたりすることができます。
リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。

受話器を置いたまま操作します。

**1** ◯(登録) 8 5 1 と押す

**2** 暗証番号を入れる（4ケタ）

＜留守録暗証番号＞
一般=1234(4桁)

・番号を押しまちがえたときは、◯(戻る) を押して、もう一度入れ直します。

**3** (決定/FAXスタート) を押す

**4** (停止) を押す

■ **途中でやめるときは**
(停止) を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
◯(戻る) または ◯(取消) を押します。

■ **登録した暗証番号を消すときは**
① ◯(登録) 8 5 2 2 と押す
② (停止) を押す

## 外出先からリモート操作する

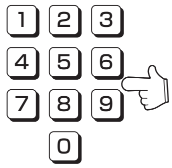
**1** 自宅に電話をかける

・ダイヤル回線の電話機からリモート操作するときは、ダイヤルしたあとにトーン信号に切り替えます。（トーン信号の切り替えかたは、電話機の取扱説明書をご覧ください。）

**2** 応答メッセージが聞こえている間に # を押す

・# を押すと流れている応答メッセージが止まります。このあと「暗証番号とシャープを押してください。」と聞こえます。聞こえないときは、もう一度 # を押してください。

**3** 暗証番号（4ケタ）を押す

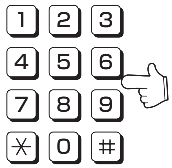


・10 秒以上あいだをあけると「プー」という音が聞こえます。もう一度入力してください。2回聞くと電話は切れます。

**4** # を押す

・番号をまちがえると、「暗証番号がまちがっています。」と聞こえます。2回まちがえると電話は切れます。

**5** 音声メッセージを聞いたあと **リモート操作番号を押す**



（例）録音内容を聞くときは、1 # と押します。

**6** リモート操作が終わったら **電話を切る**

■ **暗証番号を変えるときは**
もう一度暗証番号を登録（上書き）します。

■ **暗証番号を忘れたときは**
忘れた暗証番号の確認はできません。新しい暗証番号を登録（上書き）します。新しい暗証番号を登録（上書き）しても、録音内容は消えません。

# 外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）

■ リモート操作表

| 操作内容 | リモート操作番号 |
|---|---|
| 録音内容を聞くには | 1 # |
| 早聞きや遅聞きをするには | 再生中に 1 #（早聞き）→ 1 #（遅聞き）→ 1 #（元に戻る）→（早聞きに戻る） |
| 今聞いている録音内容を聞き直すには | 再生中に 3 # |
| 今聞いている録音内容の1件前を聞くには | 再生中に 3 # 3 # |
| 次の録音内容を聞くには | 再生中に 4 # |
| 止めるには | 再生中に 5 # |
| 再生済みの録音内容を消すには | 停止中に 0 1 # |
| 録音内容をすべて消すには<br>※ 未再生の録音も消えます。応答メッセージは消えません。 | 停止中に 0 2 # |
| 留守を設定／解除するには | 停止中に 6 # |

■ **一般録音の内容を聞くときは**

留守に設定されているときに再生すると、留守設定以降に入った録音を一番古いものから順番に再生します。
留守に設定されていないときは、未再生の一番古い録音から、それ以降の録音を順番に再生します。

●留守設定しているとき

（留守設定：3件目と4件目の間）

| 1件目<br>再生スミ | 2件目<br>未再生 | 3件目<br>未再生 | 4件目<br>再生スミ | 5件目<br>未再生 | 6件目<br>未再生 |
|---|---|---|---|---|---|

（4件目から6件目まで→）留守設定以後の録音を再生する
（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）

●留守設定していないとき

| 1件目<br>再生スミ | 2件目<br>未再生 | 3件目<br>未再生 | 4件目<br>再生スミ | 5件目<br>未再生 | 6件目<br>未再生 |
|---|---|---|---|---|---|

（2件目から6件目まで→）未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は1件目から再生）

■ **トールセーバーとは**

外から電話して、留守録の有無を確かめることができる機能です。トールセーバーに設定すると新しい録音があるときは、着信音が2回（新しい録音がないときは5回）で留守応答します。
留守モード時のコール回数の設定で、トールセーバーにします（☞62ページ）。

■ **トールセーバー機能の使いかた**

着信音が2回鳴ってもつながらないときは、留守設定後に新しく録音されていないことがわかります。3回目の着信音が聞こえたらすぐに電話を切ると通話料金がかかりません。

**お知らせ**

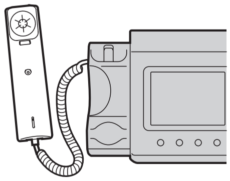
- ●暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。
- ●操作は1分以内に行ってください。（1分以上あけると電話が切れます。）
- ●親機の「在宅時コール回数」が「無制限呼出」のときはリモート操作できません。リモート操作をお使いになるときは、「着信音の回数を設定する」（☞79ページ）で「回数選択」に設定しておいてください。

# プッシュホンのサービスを利用する

ダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出した後にトーンボタンを押すことにより､プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御　等）を利用することができます。

## 親機でプッシュホンのサービスを利用する（ダイヤル回線ご利用時）

**1** 受話器を取る



**2** 各種サービスにダイヤルする

**3** [＊/トーン] を押す

・このあと、アナウンスにしたがって操作します。
・これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
・電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

■ **トーン信号とは**

プッシュホン回線（トーン）で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。
ダイヤル回線でご契約されている方でも、[＊/トーン]（親機の場合）または [＊トーン]（子機の場合）を押すと、このトーン信号を出すことができます。

## 子機でプッシュホンのサービスを利用する（ダイヤル回線ご利用時）

**1** [通話] を押す

**2** 各種サービスにダイヤルする

**3** [＊トーン] を押す

・このあと、アナウンスにしたがって操作します。
・これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
・電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

**お知らせ**

●サービスの種類によっては、トーンボタンを使っても受けられないものがありますので、詳しくは各サービスの提供先に確かめてください。
●子機でトーンボタンを使ってサービスを受ける場合、トーン信号をうまく受け付けないサービスもあります。このときは、親機を利用してください。

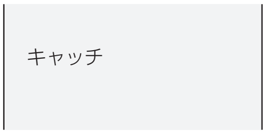
# キャッチホンを利用する

キャッチホン（通話中着信サービス）は、NTTが行っているサービスのひとつで、電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話をとることができるサービスのことです。
キャッチホンを利用するにはNTTとの契約（有料）が必要です。

## 親機でキャッチホンを利用する

**1** 通話中に着信音が聞こえたら

キャッチ/消去 ◯ **を押す**




・キャッチホン・ディスプレイを契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。（非通知、表示圏外、受信エラー、公衆電話なども表示します。）

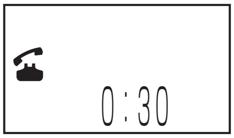
**2** もとの通話に戻るときはもう一度

キャッチ/消去 ◯ **を押す**

## 子機でキャッチホンを利用する

**1** 通話中に着信音が聞こえたら

カナ/キャッチ ◯ **を押す**




・キャッチホン・ディスプレイを契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。

**2** もとの通話に戻るときはもう一度

カナ/キャッチ ◯ **を押す**

■ **キャッチホン・ディスプレイを契約するときは（☞115ページ）**

■ **キャッチホンを利用すると電話が切れてしまうときは／切り替わらないときは（☞140ページ）**
キャッチホンの切替時間を変えることができます。

**お知らせ**

●キャッチホンをご利用の際は、キャッチボタンをご使用ください。通話中にフックスイッチを押すとキャッチボタンや保留ボタンが使えなくなることがあります。
●ファクス受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。
●親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、決定/FAXスタートボタンを押して受話器を戻さずにお待ちください。受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
●子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると電話が切れて、もとの相手の方との通話には戻れません。
●キャッチホンⅡを利用して、割り込み音の回数を「0」回に設定すると、ファクス受信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。なお、詳しくはNTTにお問い合わせください。
●キャッチホン・ディスプレイを契約すると、着信音が鳴ると同時にディスプレイに相手の方の電話番号などが表示されます（☞115～116ページ）。

# ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイとは、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号をディスプレイに表示させるサービスです。このサービスを利用するには、**NTTとのご契約が必要です。**

[ナンバー･ディスプレイを利用するには]

**1** NTTと契約する（有料）
右記NTT窓口にお申し込みください。

**2** **本機のナンバー・ディスプレイの設定は、必要ありません。**
お買い上げ時は、ナンバー・ディスプレイの設定は「使用する」になっています。

**3** **NTTの工事終了後にサービスが利用できます。**
工事日数については、右記NTT窓口にお問い合わせください。

**ナンバー・ディスプレイサービス、キャッチホン・ディスプレイサービスに関するお問い合わせ、お申し込み先**

NTT窓口
TEL：局番なしの
**116**（通話料金無料）
受付時間　午前９時〜午後９時
土・日・祝も受付
（年末・年始は除く）

## ナンバー・ディスプレイの設定

お買いあげ時は、ナンバー・ディスプレイの設定は「使用する」になっています。
設定を変更するときは、下記の手順で変更してください。

**1** ◯（登録）を押し、# を４回押す

**2** 4 を押す

**3** ナンバー・ディスプレイを
利用するときは 1 、
利用しないときは 2 を押す

<ナンバー・ディスプレイ>
①使用する
②使用しない

・工場出荷時は、「使用する」になっています。

**4** ◯（停止）を押す

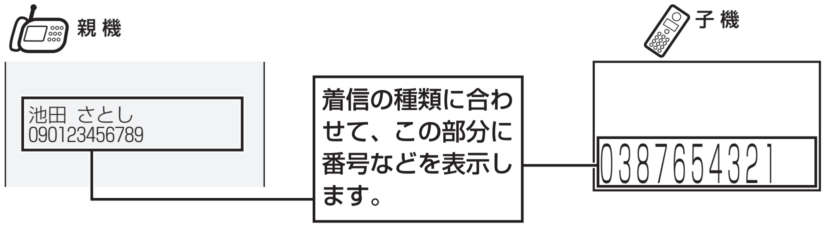
■ **途中でやめるときは**
◯（停止）を押します。

■ **１つ前に戻るときは**
◯（戻る）を押します。

**お知らせ**

- 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンに接続してお使いのときは、ナンバー・ディスプレイを「使用しない」に設定してください。
- ナンバー・ディスプレイをISDN回線でお使いになるときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ（TA）をお使いください。
- ナンバー・ディスプレイを開始後に、ナンバー・ディスプレイの設定を「使用しない」にされていると、電話がかかってきたとき、はじめに短い着信音が５〜６回鳴ります。このときに電話に出ると切れますので、通常の着信音が鳴ってから、電話に出てください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、着信音の回数（☞79ページ）や、留守モード時のコール回数（☞62ページ）を２回以上に設定してください。
- 相手の方の番号は親機で20ケタ、子機では16ケタまで記録されています。ただし、子機のディスプレイに表示されるのは12ケタまでです（12ケタを超える場合は最後から12ケタを表示します）。
- 内線通話中に電話がかかってきたときは、子機では、着信表示されません。
- ナンバー・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTへお問い合わせください。
- ISDN回線のターミナルアダプタのアナログポート・構内交換機（PBX）や他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが使えない場合があります。
- １本の電話回線に２台以上の電話機などを接続（ブランチ式接続）してご利用の場合は、発信電話番号が正確に表示されないことがあります。

## 電話がかかってきたときのディスプレイ表示




| 表　示 | 着　信　情　報 |
|---|---|
| 親機　子機<br>「0387654321」など<br>（電話番号） | 相手の方が自分の番号を通知して電話をかけた場合（「通常通知（通話ごと非通知）」の場合、または「186」をつけてダイヤルした場合）。 |
| 親機<br>「池田 悟」など<br>（相手の方の名前）<br>子機<br>「イケダ サトシ」など<br>（相手の方の名前） | 電話帳に登録されている相手の方が、番号を通知して電話をかけた場合。<br>●名前と電話番号を表示します（子機では名前のみ）。<br>●親機と子機では電話帳が別なので、それぞれに登録している相手の方の名前を表示します。<br>**●親機や子機の電話帳に電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。** |
| 親機<br>「非通知」<br>子機<br>「ーヒツウチー」 | 相手の方が自分の番号を通知せずに電話をかけた場合（「通常非通知（回線ごと非通知）」の場合、または「184」をつけてダイヤルしている場合）。 |
| 親機<br>「表示圏外」<br>子機<br>「ーヒョウジケンガイー」 | 相手の方が番号通知ができない地域や回線（国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP電話など）からかけた場合。 |
| 親機<br>「公衆電話」<br>子機<br>「ーコウシュウデンワー」 | 相手の方が公衆電話を使ってかけた場合。<br>●公衆電話からでも相手の方が「184」をつけてダイヤルしたときは「非通知」になります。 |
| 親機<br>「受信エラー」<br>子機<br>「ージュシンエラーー」 | 相手の方の発信電話番号の情報が正しく受信できなかった場合。 |
| 親機<br>「外線使用中」<br>子機<br>「チャクシン」 | 着信音が鳴る前に、NTTから相手の電話番号データを受信しています。この表示のときは、電話に出ることもかけることもできません。 |

# 着信記録を表示する

**ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。**

電話がかかってくると、相手の方の電話番号や着信した日時などが最大20件まで記録されます（着信記録）。20件を超えると古い着信記録から消去されます。

## 親機で着信記録を表示する

### 1 ◯（着信記録）を押す




・かかってきた相手の方の番号や名前、着信した日付・時刻を表示します。
・ で１件古い着信記録、 で１件新しい着信記録が選択されます。

■ **着信記録の表示をやめるときは**

（停止）を押します。

■ **親機の着信記録をプリントするときは**

・親機に記録紙をセットして、◯（登録）［9ら］［1あ］［2か］と押します。

・着信記録の表示中に（コピー/印刷）を押します

■ **親機の着信記録を１つだけ消去するときは**

① ◯（着信記録）を押す

② で消去する着信記録を選び、（キャッチ/消去）を2回押す

③ （停止）を押す

■ **親機の着信記録をすべて消すときは**

待受画面で（キャッチ/消去）［2か］［2か］と押します。

## 子機で着信記録を表示する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

### 1 を２回押す




・最後にかかってきた相手の方の番号を表示します。子機の電話帳に登録しているときは名前を表示します。
・再ダイヤルを消去しているときは を１回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま２回目を押すと着信記録を表示します。
・ で１件古い着信記録、 で１件新しい着信記録を表示します。
・選んだあと を押すと、着信のあった日付・時刻を表示します。

■ **着信記録の表示をやめるときは**

（切）を押します。

■ **子機の着信記録をすべて消すときは**

※子機の着信記録を１件ずつ消すことはできません。

① （通話）を消灯させた状態で、（機能）を押す

② で「チャクシンキロククリア」を選ぶ

③ （機能）を押す

④ もう一度、（機能）を押す

**お知らせ**

●着信記録は親機と子機、別々に記録しています。
●電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
●親機では、「非通知お断り」「公衆電話お断り」「表示圏外お断り」「お断り番号」を設定している場合も、着信記録が表示されます。
●親機では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。
●電話回線の状況によっては、着信記録を正しく表示できなかったり、着信記録が残らないことがあります。

# 着信記録を使って電話をかける

かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示して電話をかけることができます。
21件以上着信すると、古い着信記録から自動的に消去されます。

## 親機で着信記録を使って電話をかける

**1** ◯（着信記録）を押す




**2** で選んだあと、受話器を取る

・ で１件古い着信記録、 で１件新しい着信記録が選択されます。

**3** 通話が終わったら
**受話器を戻す**

■ **途中でやめるときは**

受話器を戻します。

■ **受話器を取ったあと、着信記録を使って電話をかけるときは**

① 受話器を取る
② ◯（着信記録）を押す
③ で着信記録を選ぶ
④ （決定/FAXスタート）を押す
⑤ 相手の方とお話しする
⑥ 通話が終わったら受話器を戻す

■ **184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるときは**

上記の①のあとに「184」や「186」などをダイヤルして②～⑤の操作を行います。

## 子機で着信記録を使って電話をかける

**1** を２回押す




・最後にかかってきた番号を表示します。子機の電話帳に登録しているときは名前を表示します。
・再ダイヤルを消去しているときは を１回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま２回目を押すと着信記録を表示します。

**2** で選び、（通話）を押す

・ で１件古い着信記録、 で１件新しい着信記録を表示します。

**3** 通話が終わったら
**充電器に戻す**

・充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

**お知らせ**

●親機・子機とも、発信電話番号情報がない場合や、受信エラーなどのときは、電話をかけることはできません。
●相手の方の番号は親機で20ケタ、子機では16ケタまで記録されています。ただし、ディスプレイには、親機では20ケタ表示しますが、子機では12ケタまでしか表示しません。
●親機でコピー中・プリント中のときは、子機の使用はできません。
●着信記録を使って電話をかけるときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。（「184」などダイヤルした番号では働きます）

# 着信記録を使ってファクスを送る

かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示してファクスを送ることができます。

## 親機で着信記録を使って ファクスを送る

**1 原稿をセットする（☞68ページ）**

・画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

**2 ◯（着信記録）を押す**

着信記録 2005年 9月 3日(土) 10:40am
9/ 3 10:00am 池田 さとし
9/ 3 9:13am 090123456789
9/ 2 8:25pm 03987654321

**3 ◯ で選び、（決定/FAXスタート）を押す**

・◯ で１件古い着信記録、◯ で１件新しい着信記録が選択されます。

・このあと、自動的に送信を始めます。

■ **途中でやめるときは**

（停止）を押します。

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞130ページ）**

**お知らせ**

●着信記録を使ってファクスを送るときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

●自動送信がうまくいかないときは、「発信音検出」（☞139ページ）の設定を「なし」にするか、受話器を取って送信してください。

## 子機で着信記録を使って ファクスを送る

受話器を置いたまま操作します。

**1** 親機

**原稿をセットする（☞68ページ）**

・画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

**2** 子機

**◯ を２回押す**

着信記録
0312345678

・最後にかかってきた番号を表示します。子機の電話帳に登録している番号のときは、名前を表示します。

**3** 子機

**◯ で選んだあと、（通話）を押す**

・◯ で１件古い着信記録、◯ で１件新しい着信記録を表示します。

**4** 子機

相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

**（機能）を押す**

・相手の方とお話ししないでファクスを送りたいときは、電話がつながったら、機能ボタンを押します。

・相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります（おまかせ送信）。

**5** 子機

**充電器に戻す**

■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

■ **おまかせ送信について（☞72ページ）**

# 着信記録を電話帳に登録する

着信記録の中の電話番号を、電話帳に登録することができます。

## 着信記録を親機の電話帳に登録する

**1** ◯（着信記録）を押す

**2** で登録する番号を選ぶ

・ で１件古い着信記録、 で１件新しい着信記録が選択されます。

**3** ◯（新規登録）を押す

**4** 名前を入れる（最大全角10文字/半角20文字）

<　名前　>［漢/かな］
池田 さとし
>

・文字の入力方法は51～52ページをご覧ください。

**5** （決定/FAXスタート）を押す

・「読み」に変更があれば修正します。

**6** 「読み」が正しければ （決定/FAXスタート）を２回押す

・着信記録の番号が第１番号として登録されます。

**7** 電話番号（第2番号）を入れる（最大32ケタ）

・第２番号の入力は省略できます。省略するときは、この手順をとばして手順8に進んでください。

**8** （決定/FAXスタート）を押す

・続けて登録するときは手順2からくり返し行ってください。

**9** ◯（停止）を押す

■ 途中でやめるときは

◯（停止）を押します。

■ １つ前に戻るときは

◯（戻る）または ◯（取消）を押します。

## 着信記録を子機の電話帳に登録する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

**1** を２回押す

着信記録
0312345678

**2** で登録する番号を選び、（機能）を押す

・ で１件古い着信記録、 で１件新しい着信記録を表示します。

**3** 名前を入れる（最大12文字）

ミウラ サオリ

・名前の入力を省略するときは機能ボタンを押すと登録を完了します。
・文字の入力方法は55～56ページをご覧ください。

**4** （機能）を押す

・「ピー」と鳴って、残りの登録可能件数が表示され、待受画面に戻ります。

■ 途中でやめるときは

（切）を押します。

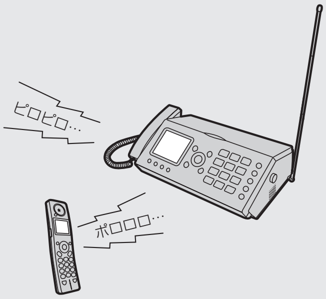
**お知らせ**

- 親機・子機とも、発信電話番号情報がない場合や、受信エラーなどのときは、電話帳に登録することはできません。
- 登録中に電話がかかってくると、登録は中止されます。はじめからやり直してください。

# 着信の種類によって着信音を変える（着信鳴り分け）

**ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。**

電話がかかってきたとき、着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。
親機では、「親機の電話帳に登録している方」からの着信音、子機では、「子機の電話帳に登録している方」、「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」の着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。
はじめは、親機・子機とも設定されていません。




**着信鳴り分けを設定したとき**

親機では、親機の電話帳に登録されている方から電話がかかってくると、下記の「親機の鳴り分け時の着信音を選ぶ」で設定した着信音が鳴ります。それ以外の方からかかってきたときは、29ページで設定した着信音が鳴ります。

子機では、着信の種類に合わせて109ページで設定した着信音が鳴ります。それ以外の方からかかってきたときは、30ページで設定した着信音が鳴ります。

## 親機の鳴り分けを設定する

**1** ◯（登録）8 3 1 と押す

**2** 着信鳴り分けを設定するときは 1 、解除するときは 2 を押す

**3** ◯（停止）を押す

■ **途中でやめるときは**
◯（停止）を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
◯（戻る）を押します。

**お知らせ**
●かかってくる相手の方ごとに着信音を変えることはできません。

## 親機の鳴り分け時の着信音を選ぶ

着信鳴り分け時の着信音を選びます。

**1** ◯（登録）8 3 2 と押す

<鳴り分け時の着信音>
②鳥の声
③電子音
④バッハのインベンション
⑤ジュ・ト・ブ
⑥シンフォニー40番

**2** ダイヤルボタンの 1 ～ 6 で着信音を選ぶ

・鳴り分け用として設定できる着信音は、「親機の着信音の種類を変える」（☞29ページ）で設定できるものと同じです。

**3** ◯（停止）を押す

■ **途中でやめるときは**
◯（停止）を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
◯（戻る）を押します。

## 子機の鳴り分けを設定する／着信音を選ぶ

子機では、「子機の電話帳に登録している方」「非通知の電話」「公衆電話」「表示圏外」の４種類ごとに着信音を変えることができます。

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

**1** (機能) **を押し、**(上下キー) **で「チャクシンナリワケ」を選ぶ**

チャクシンナリワケ

**2** (機能) **を押し、**(上下キー) **で鳴り分けをしたい項目を選ぶ**

・「デンワチョウ」「ヒツウチ」「コウシュウデンワ」「ヒョウジケンガイ」の4項目から選べます。

**3** (機能) **を押す**

♦：ネイロセンタク

・すでに設定している場合は、設定している着信音が鳴ります。

**4** (上下キー) **で着信音を選ぶ**

・選ぶたびに、着信音（確認音）が鳴ります。
・鳴り分け用として設定できる着信音は、「子機の着信音の種類を変える」（☞30ページ）で設定できるものと同じです。

**5** (機能) **を押す**

・「ピー」と鳴って着信鳴り分けが設定され、待受画面に戻ります。

**■ 途中でやめるときは**

(切) を押します。

**■ 子機の着信鳴り分けを解除するときは**

着信音を選ぶ手順（左記手順４）で、「ピピッ」と鳴る項目を (上下キー) で選び、(機能) を押します。

**お知らせ**

●かかってくる相手の方ごとに鳴り分けを設定することはできません。

# 非通知・公衆電話・表示圏外からの電話を受けない

**ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。**

「非通知の電話」「公衆電話からの電話」「表示圏外からの電話」に対して着信音を鳴らさずに、お断りのメッセージを流すことができます。
お買い求め時は「1：なし」に設定されています。

**1** ◯(登録) 8や 3さ と押す

**2** 「非通知お断り」を設定するときは 4た、
「公衆電話お断り」を設定するときは 5な、
「表示圏外お断り」を設定するときは 6は
を押す

**3** 2か を押す

・「お断り」の設定になります。各項目の内容は以下のようになります。

1あ 「なし」
お断りを使用しません。

2か 「お断り」
お断りメッセージを流して電話を切ります。

3さ 「夜間のみ」
設定した時間のみ、「お断り」の動作をします。
(はじめは22:00～06:00に設定されています。
設定のしかたは、「非通知・公衆電話・表示圏外お断りを特定の時間帯のみお使いになるときは」(☞右記) をご覧ください。)

**4** ◯(停止) を押す

・「お断り」にしたときは相手の方には着信音が2回鳴ったあと、メッセージが3回流れて電話が切れます。

■ お断りメッセージの内容について
「非通知お断り」のとき：
「この電話は、お受けすることはできません。おそれいりますが、電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど、番号を通知しておかけ直しください」と3回流れて電話が切れます。
「公衆電話お断り」「表示圏外お断り」のとき：
「この電話は、お受けすることはできません」と3回流れて電話が切れます。

■ 途中でやめるときは
◯(停止) を押します。

■ 1つ前に戻るときは
◯(戻る) を押します。

■ 非通知・公衆電話・表示圏外お断りを特定の時間帯のみお使いになるときは
下記の操作で、お断りをご利用になる時間帯を設定します。設定後は、お断りの設定を「夜間のみ」にしてください。
① ◯(登録) 8や 3さ 8や と押す
② ダイヤルボタンで、お断りの開始時間を2ケタ入力する (24時間制)
お断り開始・解除時間は1時間単位の設定になります。
③ ダイヤルボタンで、お断りの解除時間を2ケタ入力する
④ (決定/FAXスタート) を押す
⑤ ◯(停止) を押す

**お知らせ**
- お断り応答にしたときは、緊急の用件でも着信音が鳴りませんのでご注意ください。
- 非通知や公衆電話、表示圏外からの電話がかかってきたとき、着信音はこちら側では鳴りません。(親機のディスプレイが点灯します。)
- コピー中や受信メモリーをプリントしているときに非通知や公衆電話、表示圏外からの電話がかかってきたときは、相手の方に呼出音が鳴ります。プリントが終わったあと、相手の方にお断りのメッセージが流れます。
- 非通知·公衆電話·表示圏外お断りを設定しても、ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、お断りのメッセージは流れません。
- 非通知着信時、親機のディスプレイには「外線使用中」→「非通知」→「外線自動応答中」の順に表示されます。
- 親機の日付·時刻の設定 (☞16～17ページ) が正しく合っていないと、「夜間のみ」のお断りは正しく動作しません。

# 特定の番号の電話を受けない（特定番号お断り）

**ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。**

電話を受けたくない相手先の電話番号を、「お断り番号」として登録することができます。
登録した相手先から電話がかかってくると、こちら側の着信音を鳴らさずに、相手先へお断りのメッセージを流すことができます。

## お断りしたい番号を登録する

**1** ◯（登録）8 3 7 と押す

```
お断り番号 登録　2件　（残り 28件）
03123456789
03125634780
```

**2** ◯（新規登録）を押す

**3** 電話番号を入れる（最大20ケタ）

```
＜お断り番号＞
NO.=03987654321
```

・電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。市外局番を登録しないと通常の着信となり、着信音が鳴ります。
・番号を入れまちがえたときは、取消ボタンを押して、もう一度入れ直します。

**4** （決定/FAXスタート）を押す

・手順2～4をくり返して、最大30件までの番号を登録できます。

**5** ◯（停止）を押す

### ■ お断りメッセージの内容について

お断り番号に登録した番号から電話がかかってくると、「この電話は、お受けすることはできません」と３回流れて電話が切れます。

### ■ 途中でやめるときは

◯（停止）を押します。

### ■ １つ前に戻るときは

◯（戻る）または ◯（取消）を押します。

### ■ 登録したお断り番号を１件ずつ消すときは

① ◯（登録）8 3 7 と押す
② （カーソル）で消去するお断り番号を選ぶ
③ ◯（キャッチ/消去）を２回押す
（続けて他の登録番号を消すときは、②～③をくり返す）
④ ◯（停止）を押す

### ■ 登録したお断り番号をすべて消すときは

待受画面で ◯（キャッチ/消去）5 2 と押します。

### ■ 登録したお断り番号のリストをプリントするときは

・記録紙をセットして、待受画面で ◯（登録）9 3 2 と押します。
・お断り番号の表示中に ◯（コピー/印刷）を押します。

**お知らせ**

●お断りする番号を登録したときは、緊急の用件でも着信音が鳴りませんので、ご注意ください。（親機のディスプレイが点灯します。）
●お断り番号の登録（最大 30 件）ごとに別々の受けかたを設定することはできません。
●お断り番号を登録しても、ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、お断りのメッセージは流れません。
●お断りする番号からの着信があった場合の着信音の回数は２回です。変更することはできません。

# 迷惑電話にお断りメッセージを流す

セールスや勧誘などの迷惑電話を受けたとき、通話中に来客があったようにチャイムを鳴らし、電話を切りやすくすることができます（チャイムでお断り）。また、無言電話などには、通話中にお断りメッセージを流して電話を切ることができます（メッセージでお断り）。

●ナンバー・ディスプレイ（☞102ページ）を利用されているときは、電話が切れたあと、自動的にその番号をお断り番号に登録し、以降の同じ番号からの着信をお断りします。

●また、非通知・公衆電話・表示圏外からの着信だったときは、設定した一定時間だけ、同じ種別の着信をお断りします（迷惑電話拒否機能）。

## 親機で設定する

**1** お断りしたい相手先との通話中に

（迷惑電話）**を押す**

<迷惑電話拒否>
①チャイムでお断り
②メッセージでお断り

**2** **「チャイムでお断り」：［1］を押す**

→チャイムを鳴らしますので、「すいません、来客ですので失礼します」などと相手に伝えて電話を切ってください。

**「メッセージでお断り」：［2］を押す**

→相手先にお断りメッセージが流れ、自動的に電話が切れます。

**<ナンバー・ディスプレイに契約されているとき>**

**3** **自動的にお断りが設定される**

・相手先の番号が通知されていたときは、通話終了後にその番号がお断り番号（☞111ページ）として登録されます。

・非通知･公衆電話･表示圏外からの着信のときは、一定時間だけお断りが設定されます。

■ **自動的にお断りする時間を変更するときは**

お断りが解除されるまでの時間を変更することができます。はじめは2時間に設定されています。

①（登録）［8］［3］［9］と押す

②「なし」にするときは［1］、

「2時間」にするときは［2］、

「6時間」にするときは［3］を押す

「なし」に設定すると、通話中にお断りメッセージを流して電話を切ったあと、お断りには設定されません（相手先の番号が通知されていたときは、その番号がお断り番号として登録されます）。

③（停止）を押す

■ **まちがえて操作してしまったときは**

**「チャイムでお断り」の操作をしたとき：**

チャイムが鳴ってから10秒以内に（停止）を押してください。

**「メッセージでお断り」の操作をしたとき：**

お断りメッセージが流れている間に、一度受話器を戻してから、もう一度取り上げてください。

■ **まちがえて相手先の番号がお断り番号として登録されてしまったときは**

登録されてしまったお断り番号を消去してください（☞111ページ）。

また、登録番号がわからない場合は、お断り番号リストをプリント（☞111ページ）して確認してください。

■ **まちがえて非通知・公衆電話・表示圏外のお断りが設定されてしまったときは**

非通知・公衆電話・表示圏外のお断り設定を「なし」に設定し直してください（☞110ページ）。

■ **お断りメッセージの内容について**

「メッセージでお断り」の操作をすると、相手側に「この電話はお受けすることができません」と3回流れて電話が切れます。

**お知らせ**

●ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、自動的にお断りを設定することはできません。

## 子機で設定する

子機からの操作では、「メッセージでお断り」のみ利用できます。

**1** お断りしたい相手先との通話中に
内線/クリア（保留） **を押す**

・通話が保留状態になります。

**2** （機能） **を押す**

**3** **相手先にお断りメッセージが流れ、自動的に電話が切れる**

**4** **自動的にお断りが設定される**

・相手先の番号が通知されていたときは、その番号がお断り番号（☞111ページ）として登録されます。
・非通知･公衆電話･表示圏外からの着信のときは、対応したお断り（☞110ページ）が設定されます。

**■「チャイムでお断り」を利用したいときは**

子機で通話中に、親機で操作してください。

**お知らせ**

●子機で通話中に、親機から「メッセージでお断り」を設定することはできません。子機で操作してください。

# ネーム・ディスプレイを利用する

ネーム・ディスプレイとは、電話をかけてきた方の名前や会社名をディスプレイに表示させるサービスです（かけてきた方が番号通知・発信者通知を選択している場合のみ）。

**このサービスを利用するには、ネーム・ディスプレイの利用契約（有料）のほかにナンバー・ディスプレイの利用契約（有料）が必要です。くわしくはNTT窓口にお問い合わせください。
サービスを契約したあとは、「ナンバー・ディスプレイ」の設定が「使用する」になっていることを確認してください（☞102ページ）。**

## 電話がかかってきたときのディスプレイ表示

| ディスプレイ表示 | | 着　信　情　報 |
|---|---|---|
| 親　機 | 子　機 | |
| 山田文具店<br>03123456 | 0387654321 | 電話帳に登録していなくても、かけてきた相手の方の名前（または会社名）と番号を表示します。<br>このとき子機は番号のみを表示します。 |

● かかってきた電話番号が電話帳に登録している方と一致したときは、親機の電話帳に登録している名前を表示します。（かけてきた方が発信者名の情報を通知しなくても発信者番号が親機の電話帳に登録している電話番号と一致すると親機の電話帳に登録している名前を表示します。）親機の電話帳に登録していない方のときは、受信した発信者名を表示します。




**お知らせ**

●**電話をかけてきた方が発信者名を表示しない設定の場合、名前は表示されません。**ただし、電話番号が親機の電話帳に登録している番号と一致すると、親機の電話帳に登録している名前を表示します。
●親機の電話帳に登録している内容によって発信者名の表示が異なることがあります。
●ネーム・ディスプレイでは、相手の方の名前または会社名を全角10ケタまで記録・表示します。
●ネーム・ディスプレイ機能は、子機では使えません。
●携帯電話・PHS・国際電話・公衆電話からの着信時、発信者名は表示されません。
●本商品で表示できる漢字（JIS 第1水準およびJIS 第2水準）以外の漢字コードを受信した場合は、ディスプレイ上に「※」を表示します。
●キャッチホン・ディスプレイ（☞115～116ページ）を利用されているときは、通話中にかかってきた相手の方の名前を表示します。

# キャッチホン・ディスプレイを利用する

NTTのキャッチホン・ディスプレイを契約（有料）すると、通話中にかかってきた相手の方の番号を確認してからキャッチホンに出ることができます。

■ **このサービスをご利用の際は、①〜③のサービスへの利用契約が必要です。**

①ナンバー・ディスプレイ（有料）
②キャッチホン・ディスプレイ（有料）
③キャッチホン／キャッチホンⅡ／マジックボックス／ボイスワープ／話中転送サービス

※ ③についてはいずれかの契約（有料）が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

■ **サービスを契約したあとは、２つの設定をする必要があります。**

必ずキャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定してください（☞下記）。
また、ナンバー・ディスプレイが「使用する」になっていることを確認してください（☞102ページ）。

## キャッチホン・ディスプレイの設定

「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用の時は、必ず設定を「使用する」にしてください。
（はじめは、「使用しない」に設定されています。）
※サービスを契約しているのに、「使用しない」に設定していると、電話を受けられないことがあります。

**1** ◯（登録） [8や] [3さ] [3さ] と押す

**2** キャッチホン・ディスプレイを
利用するときは [1あ] 、
利用しないときは [2か] を押す

**3** ◯（停止） を押す

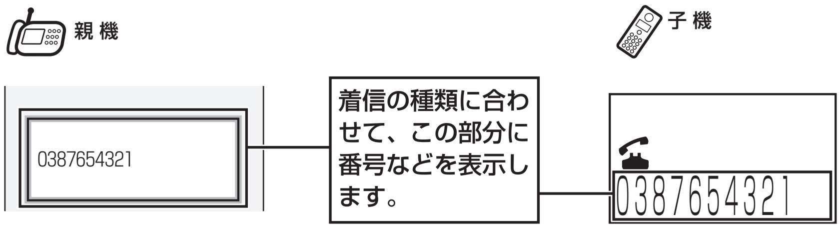
■ **途中でやめるときは**

◯（停止） を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。

## 通話中に電話がかかってきたときの画面表示について




表示の内容はナンバー・ディスプレイと同じですので、ナンバーディスプレイの表示例（☞103ページ）をご覧ください。

**お知らせ**

●キャッチホン・ディスプレイのサービスをご利用のとき、通話中にかかってきた電話も着信記録に残ります。（通話中にかかってきた電話に出ても出なくても、記録は残ります。）
●相手の方の番号は親機で20ケタ、子機では16ケタまで記録されています。ただし、ディスプレイに表示されるのは親機では20ケタですが、子機では12ケタまでです。
●親機と子機に名前を表示するには、それぞれの電話帳に名前と電話番号を登録してください。
●保留中、留守番電話動作中、ファクス送受信中は、電話番号や相手の方の名前などをディスプレイに表示しません。
●キャッチホン・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTにお問い合わせください。
●キャッチホン・ディスプレイを利用するときは、次の点に注意ください。
・ファクス送信中／受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、通信エラーになることがあります。
・キャッチホンⅡを利用して、割り込み回数を「0」回に設定すると、割り込みが入らなくなりますので番号表示されません。
・キャッチ/消去ボタンを利用した後のみ、「おまかせ受信」機能が働きません。（ファクス受信するときは、決定/FAXスタートボタンを押してください。）
●ISDN回線のターミナルアダプタのアナログポートや構内交換機（PBX）に接続すると、キャッチホン・ディスプレイが使えない場合があります。
●キャッチホン・ディスプレイを契約後に、「使用しない」に設定されていると、電話がかかってきたときに、はじめに「ピポッ・ビュッ」という音が鳴ったあとキャッチホンの着信音が鳴ります。
●キャッチホン・ディスプレイで着信したときは、ナンバー・ディスプレイ機能の中の非通知お断りや公衆電話お断り、表示圏外お断り、お断り番号などは働きません。（相手の方にメッセージは聞こえません。）
●キャッチホン・ディスプレイをご利用にならない場合は、利用設定を「使用しない」に設定してください。お話し中の声で、キャッチホン・ディスプレイが働いて通話が途切れてしまうことがあります。
●１本の電話回線に２台以上の電話機などを接続（ブランチ式接続）してご利用の場合は、発信電話番号が正常に表示されないことがあります。
●通話中の声により通話が途切れる場合があります。
●次のようなときは、電話番号を表示しない場合があります。
・大きな声で通話しているとき
・周囲が騒がしいとき
・設置場所からNTTの交換機まで距離が離れすぎているとき
・割り込み音とお話し中の声が重なったとき